

# 富山県連盟から石川県連盟へ

## ― 私たちがができる応援活動 ―

私に住む富山県には、農業科を設置する高校が5校あります。農業クラブ員数は400名弱と、他県に比べると決して多い人数ではありませんが、単位クラブごとに地域の特色に合わせた農業クラブ活動を行っています。私が在籍する富山県立小矢部園芸高校では、実習で育てた草花を植えたプランターを地域の駅や公共施設に設置し、地域の方々からご好評をいただいています。今年度は新たな試みとして、地元の観光牧場でもある稲葉山牧野いなばやまに草花を植え、観光地としてより華やかさをプラスし、喜んでいただける活動に力を入れています。

今年1月1日、能登半島のどを震源とした「令和6年能登半島地震」が発生しました。隣県の富山県連盟として、甚大な被害があった石川県連盟にどのような支援ができるのか、4月に各単位クラブ会長で協議しました。その結果、毎年7月下旬に県内の農業クラブ員が交流を深めるとともに農業関連の施設見学などを行う「クラブ員育成研修会」のなかで、寄せ書きを作成することになりました。また、各校で実施する販売会や即売会で募金活動を行うことも決まりました。

「クラブ員育成研修会」当日は、各単位クラブで考えてきた言葉を2枚の布に書き込みました。この寄せ書きは、8月20日・21日に行われた北信越ブロック大会の代議員会にて石川県連盟会長の吉川修澄さんに手渡し、富山県連盟の熱い応援メッセージを送ることができました。

石川県連盟は、一昨年の農業クラブ全国大会（北陸大会）をともに運営した仲間です。困ったときには農業クラブ員同士が助け合うことも大切だと思います。寄せ書きを見て、少しでも勇気を持ってもらえたらうれしいです。

今回の活動をとおして、富山県連盟の結束力をあらためて感じることができました。今後も富山県連盟は一丸となつてがんばっていききたいです。